

Connected Leadership

Powered by Brunswick


日本

経営者によるソーシャルメディア(SNS)を活用した戦略的な情報発信は、グローバル市場において競争優位を勝ち取る必要不可欠な要件となっています。ブランズウィックによる今回のアンケート調査では、**社長が自らのSNSで積極的な情報発信を行うことは、企業に対する社会的信用度・評価を向上させたり、訴訟・事故等の危機からの早期回復を可能にするだけでなく、海外のステークホルダーとのつながりを強化することができる**ということが明らかになりました。

一見、日本国内においては、社長によるSNSでの情報発信と企業の信頼度には海外市場ほどの大きな相関関係がないと思われがちです。しかしながら、今回の調査では、ビジネスに感度の高い読者(日経新聞等のビジネス誌を購読している読者層)は、SNSで情報発信をしない社長よりも、そうする社長をより信用する傾向にあること、その90%がSNSを使用した経営者からの積極的な情報発信が重要と回答したことが判明しました。

洞察のポイント

- ・ **グローバル市場における、従業員やビジネスに感度の高い読者の大多数は、SNSを使った社長からの積極的な情報発信は重要と考えている。**SNSは、日本企業の経営者にとって、海外のステークホルダーに対してしっかりと情報発信を行い、彼らの期待値をマネージする意味で非常に重要なツールと言えるでしょう。
- ・ **SNSを効果的に活用できれば、経営者は自社に対する高い信用度を確保することが出来る。**日本国内、海外を問わず、ビジネスに感度の高い読者の大半は、SNSで情報発信を行う社長により信頼を置く傾向にあり、その理由には、「経営者がより身近に感じられるから」を挙げています。
- ・ **危機対応時において、SNSは、国内海外を問わず重要な情報発信ツールと認識されている。**ビジネスに感度の高い日本の読者は、経営者が発信すべき最も重要なテーマとして、自然災害、誤報、新型コロナウイルス、自社の危機事案を挙げています。不測の事態に備えて、このような発信ツールの整備を事前に行っておくことが、実際の危機対応の成否を分ける差となって表れます。

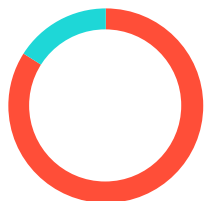
 Connected Leadershipについてのご質問やその他のお問合せにつきましては、ConnectedLeadership@BrunswickGroup.comまでお問い合わせ下さい。

日本市場のデータ



7割

ビジネスに感度の高い日本の読者の7割は、SNSで情報発信する社長を、それをしない社長よりも信用すると回答している。これはグローバルとほぼ同等のレベル。




84%

ビジネスに感度の高い日本の読者の84%が、経営者によるSNSでの積極的な情報発信が重要と回答している。グローバル全体では89%が同じ回答。



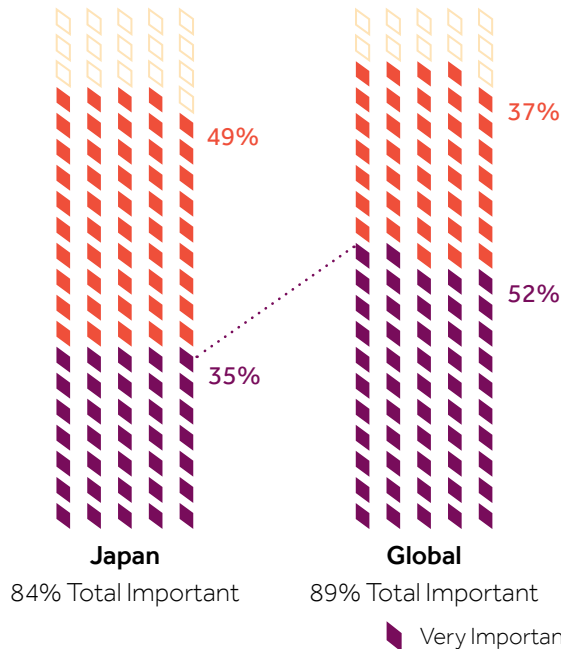
9割

ビジネスに感度の高い日本の読者の9割が、事故・不祥事等の危機局面において、社長によるSNSでの情報発信が重要と回答している。

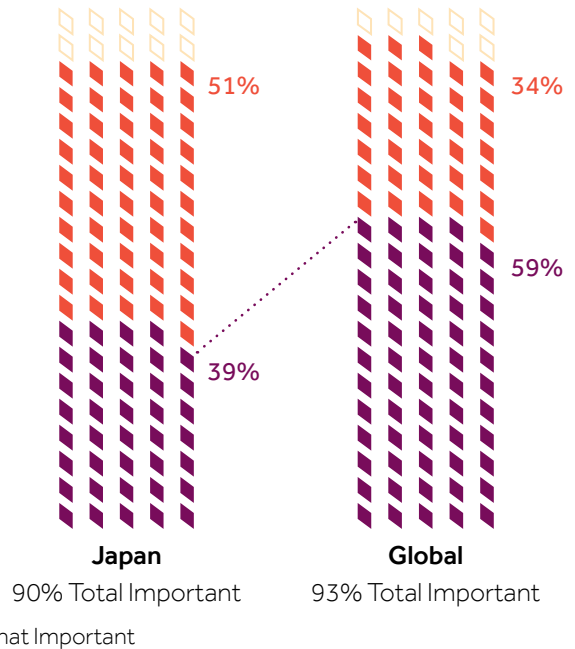
 Connected Leadershipのレポート全文については、[こちらをご覧ください](#)。

トップが身近に感じられるような経営スタイルがない企業では、危機対応でも後手に回る傾向があります。危機発生前から事前に信頼を構築してきた経営者は、ここぞという場面でより効果的な一手を打つことが可能になります。国内海外を問わず、経営者によるSNS情報発信の重要性について意見は一致する傾向にありますが、とりわけ海外市場では、その期待値はより高くなる傾向があります。実際、危機対応時における社長からのSNSを活用した情報発信が「非常に重要」と回答した人の割合で比較すると、海外は日本を20ポイント上回る結果となりました。

How important is it for CEOs to actively communicate on social media?



How important is it for CEOs to actively communicate on social media during a crisis?



何から着手すべきか？

1. 今すぐConnected Leadershipを実施しましょう。社長がお持ちのリーダーシップをどのように調整すれば、より身近で透明性のあるリーダーになれるでしょうか？
2. 身近に感じられる透明性のある経営者を求めるニーズに、御社の経営陣はどのように向き合ってきたか確認しましょう。この観点から他社との優位性はあると言えるでしょうか？
3. 将来、御社の従業員や投資家になるかもしれない人たちが、御社の事をインターネットで検索したら、どのような検索結果が目にとまるでしょうか？ 彼らの視点から自社の見え方を確認しましょう。
4. コロナ後の環境変化を念頭に、どの様なリーダーシップを維持し、どの様なリーダーシップは環境変化に合わせて変えていくべきかを見極めましょう。更なる改善点はどこにあるでしょうか？
5. 明日起きるかもしれない危機に、経営者としてどの様に対応しますか？ 危機対応プランを検討する際は、必ずSNS戦略を組み込みましょう。

Connected Leadershipについて

弊社が提供するConnected Leadershipは、インターネットで繋がったデジタル空間において、企業によるリーダーシップがどのように定義されるかを分析するために開発されたプラットフォーム(データベース)です。弊社は、13の国と市場において、ビジネスに感度の高い読者、社員数1,000名以上の企業の従業員を対象に、「経営者にどのような情報発信を期待するか」というテーマに焦点を当て、アンケート調査を実施しました。



Connected Leadershipについてのご質問やその他のお問合せにつきましては、ConnectedLeadership@BrunswickGroup.comまでお問い合わせ下さい。